



館書圖博平四 館書圖嶺主公 館書圖京新 館書圖湖真木 館書圖東安 館書圖南朝

† 戦前の外地図書館と、日本近代図書館の関係連鎖を考察する際の基本参考資料。樺太、北京、上海、満洲、朝鮮、台湾、沖縄の七つの空間地域より構成。

† 戦前期に日本国外において日本の支配下にあった地域や、日本による強い影響のもとにあった地域の図書館や、図書室・資料室が刊行した資料を集成。活動や業務内容を伝える要覧・報告書、館報、年史、特定の主題目録などにより戦前期「外地」図書館の活動を総体として把握することが可能となる。

† 戦後、日本の図書館が発展するに際し、この外地において展開された活動が館界において、どのような役割を果たしたのだろうか？ 図書館、メディア、社会・文化史において、これまで詳細に検討されなかった課題を明らかにする。

【本シリーズ既刊】 \*文圖文献類従 37\*

- 『戦前期「外地」図書館資料集—樺太編』全一卷  
編・解題—鈴木 仁  
価 格— 25,000円
- 『戦前期「外地」図書館資料集—北京編』全三巻  
編・解題—小黒 浩司  
価 格— 75,000円
- 『戦前期「外地」図書館資料集—上海編』全二巻  
解 題—よねい・かついちろう  
価 格— 50,000円
- 『戦前期「外地」図書館資料集—台湾編』全十巻  
編・解題—春山 明哲  
価 格— 198,000円
- 『戦前期「外地」図書館資料集—朝鮮編』全九巻＋別巻  
編・解題—小林 昌樹  
価 格— 176,000円
- 『満洲国図書館大会 写真記録集成 附. 満洲朝鮮北支旅日記』全三巻  
編・解題—小林 昌樹  
価 格— 70,000円



# 戦前期「外地」 図書館資料集

全十・別冊  
「満洲編」

[編集復刻版]

7

書誌・出版史・書物メディア史のシリーズ  
\*文圖文献類従 37\*

編 集—金沢文圃閣編集部  
造 本—A5判/糸上製函/総約3,830頁  
価 格—全巻揃価 218,000円 (配本毎分売可)  
推 薦—大場利康 (国立国会図書館)

〈第一回配本〉2023年1月 40,800円  
ISBN978-4-910363-90-5  
一巻 約460頁【一 満鉄図書館】  
二巻 約440頁【一 満鉄図書館】

〈第二回配本〉2023年7月 50,000円  
ISBN978-4-910363-91-2  
三巻 約190頁【一 満鉄図書館】  
四巻 約340頁【一 満鉄図書館】

ISBN978-4-910363-94-3 (別冊のみ分売可 15,000円)  
別冊 約310頁 \*総目次細目・索引  
附録資料：『満洲文化を語る』  
(水野梅曉著、支那時報社、1935年)

〈第三回配本〉2024年1月 42,000円  
ISBN978-4-910363-92-9  
五巻 約360頁【一 満鉄図書館】  
六巻 約340頁【二 関東州・満洲国】

〈第四回配本〉2024年7月 40,000円  
ISBN978-4-910363-93-6  
七巻 約330頁【二 関東州・満洲国】  
八巻 約340頁【三 要覧・目録・一覽】

〈第五回配本〉2025年1月 45,200円  
ISBN978-4-910998-01-5  
九巻 約360頁【四 児童図書館関係】  
十巻 約360頁【四 児童図書館関係】

特別価格

7

# 戦前期「外地」 図書館資料集

全十・別冊  
「満洲編」

[編集復刻版]

敗戦を迎えるまでの間に現地において、敗戦後の現地における抑留や留用において、引揚げ後のこの列島「日本」において、すべての意半ばにして命を永らえられなかった図書館員、そして図書館に捧げる資料集。

戦前期「外地」図書館に関する資料面での本格的基盤整備。

「外地の図書館とそこで活動していた人々を抜きにして我が国の図書館史は語れない」  
(田村 俊作) (朝鮮編 推薦文) から



館書圖中家蔵 館書圖福遠 館書圖山鉄 館書圖口登 館書圖橋石大 館書圖坊房瓦 館書圖口河抄雨 館書圖口河抄

Kanazawa Bumpokaku  
金沢文圃閣  
〒920-0867 金沢市長土塀2-16-50  
Tel 076-261-8884 Fax 233-3111

書店様へ…ありがとうございます  
直接小間までお申し込みください

図版はすべて本書より (図版右上番号は資料番号を示す)  
価格は税別 054/06/2000



【一 満鉄図書館】

第一～五巻

# Manchuria

全盛期の満鉄図書館は、施設面、サービス面、そして職員の面でも、充実した活動で知られるが、植民地経営のための調査研究を目的とした研究図書館と、社員を中心とした住民のための娯楽と教養のための図書館の双方を含む多数の図書館群からなり、その構成だけを見れば、ドキュメンタリー映画で話題となった米国のニューヨーク公共図書館を思わせるものすらある。

【第一巻】約460頁

- 1 『満鉄図書館業務研究会年報』1 輯 (南満洲鉄道大連図書館内図書館業務研究会、1935年)
- 1 『満鉄図書館業務研究会年報』2 輯 (南満洲鉄道大連図書館内図書館業務研究会、1936年)

【第二巻】約440頁

- 1 『満鉄図書館業務研究会年報』3 輯 (南満洲鉄道大連図書館内図書館業務研究会、1937年)
- 1 『満鉄図書館研究会年報』4 輯 (南満洲鉄道大連図書館内図書館業務研究会、1940年)

【第三巻】約190頁

- 2 『更生の哈爾濱鉄路図書館 (接收記念誌1)』 (哈爾濱鉄路図書館、1935年)
- 2 『北満鉄路中央図書館史 (接收記念誌2)』 (哈爾濱鉄路図書館、1935年)
- 2 『北満鉄路中央図書館の接收 (接收記念誌4)』 (朝哈爾濱鉄路図書館、1935年)
- 3 『読書傾向調査実施方案 (沙河口市図書館業務研究資料第1号)』 (南満洲鉄道沙河口市図書館、1937年)
- 4 『満鉄鞍山図書館沿革史—昭和11年度末現在』 (満鉄鞍山図書館、1937年)
- 5 『満洲地方志綜合目録 (満洲學叢刊2)』 (南満洲鉄道奉天図書館、1939年)

【第四巻】約340頁

- 6 『佐原文庫分類目録—南満洲鉄道株式会社奉天図書館所蔵・附辞書体索引』 (南満洲鉄道奉天図書館、1936年)

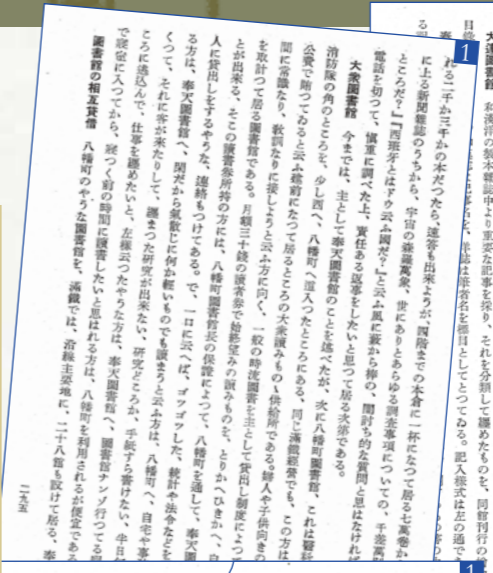
【第五巻】約360頁

- 7 『奉天鉄道局巡回書庫月報』1～43号 (次:36,41,42号) (満鉄奉天鉄道局、1939年2月～42年12月)
- 8 『産業関係雑誌記事索引』2号 (南満洲鉄道哈爾濱図書館、1941年)
- 8 『北満関係雑誌記事索引』3号 (南満洲鉄道哈爾濱図書館、1940年)
- 8 『北満関係雑誌記事索引』4号 (南満洲鉄道哈爾濱図書館、1941年)



哈爾濱図書館……

1923年創設。1925年東支鉄道管理局が北満鉄路の接收にあたり、鉄路所属の図書も含めて移管継承され、「哈爾濱鉄路図書館」となる。  
1936年この鉄路図書館をそれまでの哈爾濱図書館と合併。この接收の作業にあたったのは、田口稔大連図書館員らで、田口はその一部始終を、感激に満ち興奮さめやらぬ筆調で記述し記録。



分類	冊数	備考
一、文學	1,234	
二、歴史	567	
三、地理	890	
四、経済	1,123	
五、政治	456	
六、教育	789	
七、科学	2,345	
八、その他	678	
合計	8,765	



会社の図書館とはいえ  
一般住民にも公開され、  
この公開性が満鉄図書館の  
大きな特色となり図書館の  
活動が活性化していく。

読書傾向調査実施方案

勝家清勝

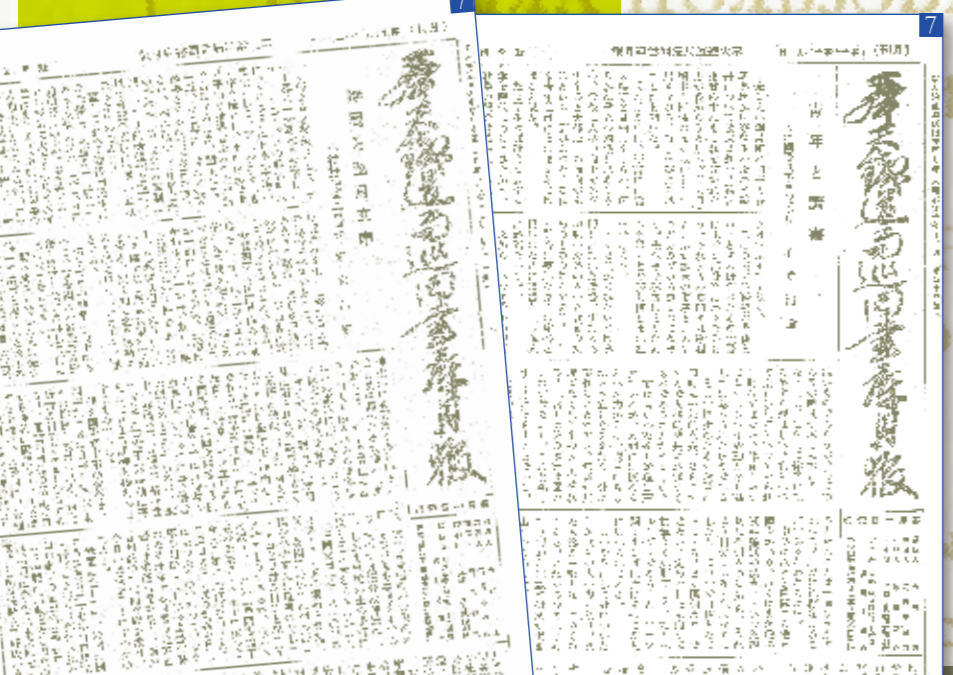
年度	総経費	人件費	印刷物費	其他	読書券収入料金
大正8年度	—	—	—	—	945.75
9	8,111.10	—	—	—	989.58
10	8,255.12	—	—	—	824.85
11	6,022.97	—	—	—	875.96
12	6,157.19	2,043.25	2,043.55	1,043.39	1,030.30
13	8,788.51	3,937.91	2,131.00	2,689.51	1,032.10
14	10,038.47	3,081.82	3,678.28	3,278.37	1,430.65
昭和元年(度)	10,643.19	4,937.93	3,964.28	2,738.02	2,003.90
2	9,007.77	3,435.35	3,173.03	2,404.39	1,914.15
3	17,033.89	3,754.48	4,631.10	3,748.31	1,613.75
4	9,032.04	3,940.79	2,837.47	2,253.93	1,524.20
5	8,759.20	4,177.81	2,536.49	1,984.86	1,197.00
6	7,407.43	3,583.32	2,034.45	1,789.65	1,037.30
7	7,544.83	3,743.03	2,076.74	1,725.03	879.80
8	6,449.47	4,533.81	2,594.89	2,203.77	597.90
9	9,938.41	4,737.81	3,123.45	2,843.15	1,133.00



種別	冊数	備考
一、文學	1,234	
二、歴史	567	
三、地理	890	
四、経済	1,123	
五、政治	456	
六、教育	789	
七、科学	2,345	
八、その他	678	
合計	8,765	

『佐原文庫』の佐原篤介……

佐原篤介(1974-1932)新聞記者・国際的ジャーナリスト慶應義塾大学卒  
1898年—『時事新報』入社、特派員として上海に渡り健筆をふるう傍ら、1904年上海英文新聞『ジャンハイ・マーキュリー』に関わり、在上海外人の輿論指導に傾注  
1920年—国際通信社上海支社主任  
1925年—東亜同文書院講師なども務めた。上海から奉天に移り  
1926年—『盛京時報』社長。上海・奉天時代を通じて、一貫して「購書の癖」がありその蔵書は、満鉄奉天団に寄託、死後、寄贈された





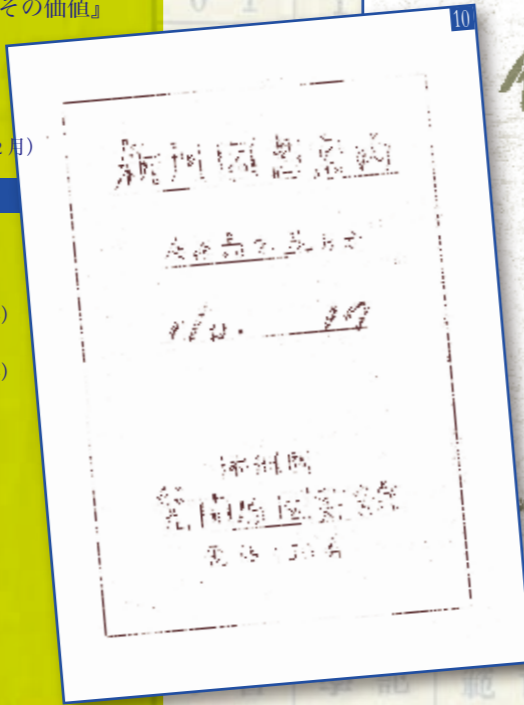
# Manchuria

【第六巻】約 340 頁

- 8 『満洲国立図書館の保有せる文化的史料とその価値』  
(水野梅暁、1933 年)
- 9 『新京資料室要覧』  
(新京資料室聯合会、1940 年)
- 10 『新刊図書案内』1～34 号  
(満洲国公立開原図書館、1937 年 12 月～41 年 12 月)

【第七巻】約 330 頁

- 11 『奉天省図書館聯合研究会年報』第 1 輯  
(奉天省図書館聯合研究会、1940 年)
- 12 『雁信』2 号  
(満洲国立中央図書館籌備処雁信編集部、1956 年)
- 12 『雁信』3 号  
(満洲国立中央図書館籌備処雁信編集部、1990 年)

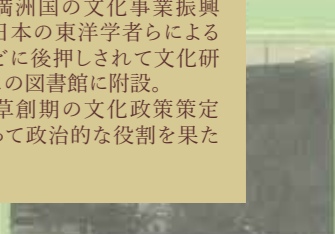
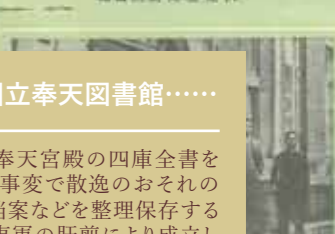
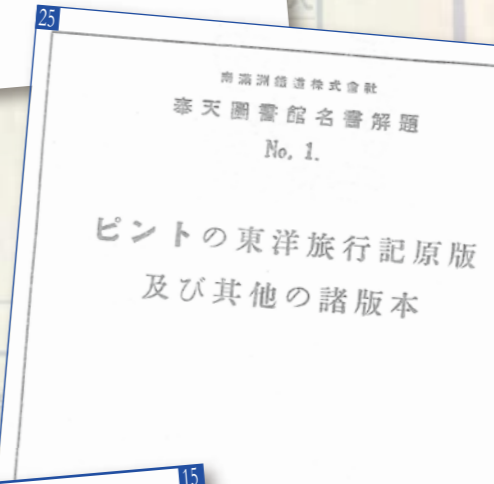
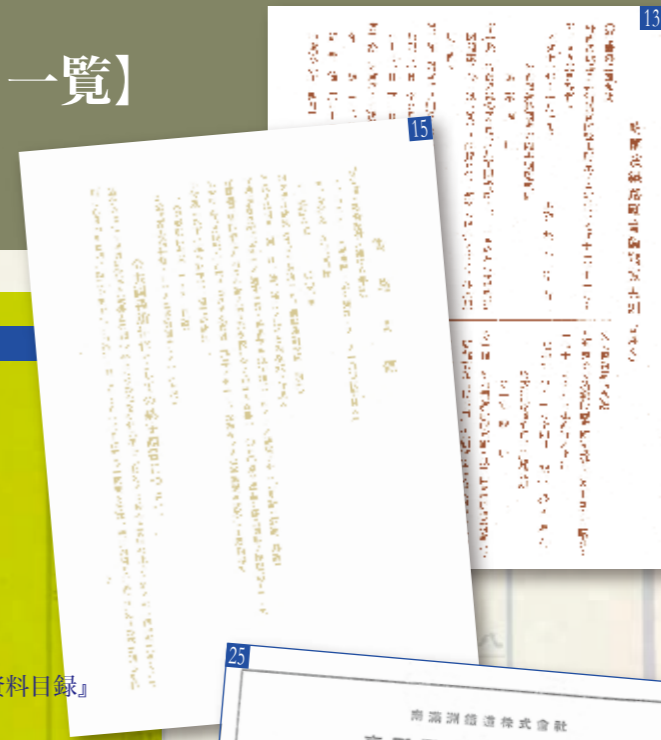


新京図書館……

満洲事変から満洲国建国へとつながり、長春が国都の新京と改名されるにともなって長春図書館は新京図書館と改称。国都の図書館と政治・法制・産業・満蒙関係の資料要請も特別図書費が支給されて蔵書の充実がはかられた。

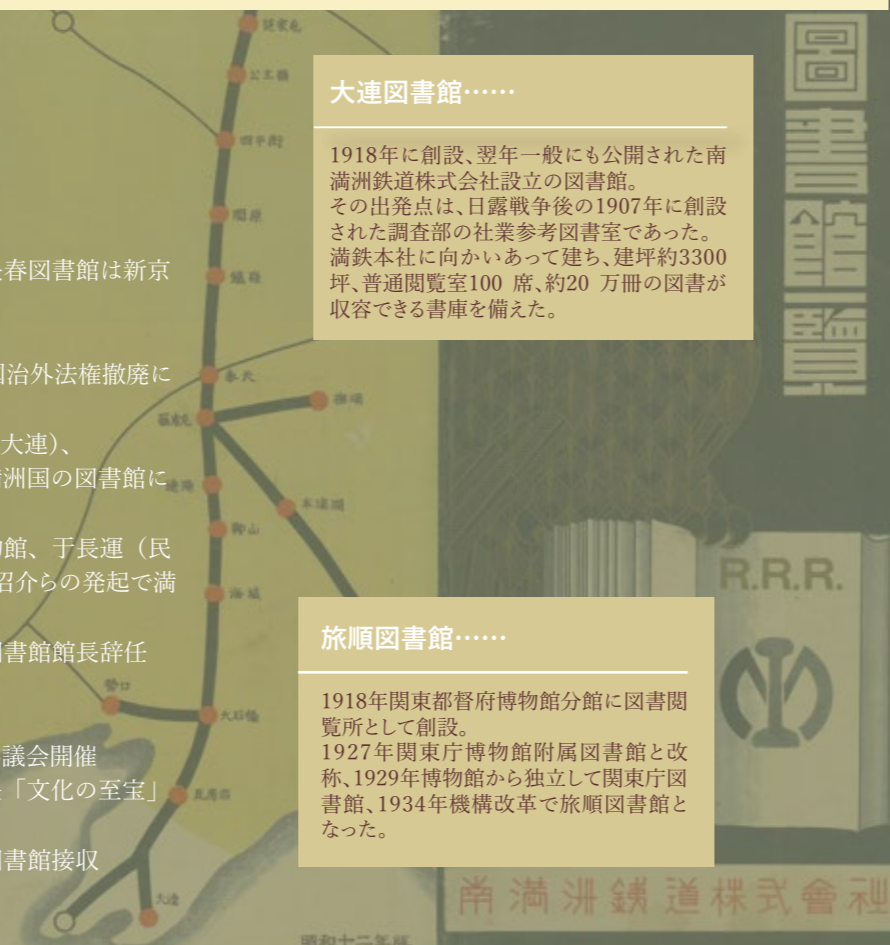
【第八巻】約 340 頁

- 13 『図書館要覧』  
(関東庁図書館、1930 年)
- 14 『哈爾濱鉄路図書館要覧』  
(哈爾濱鉄路図書館、1937 年)
- 15 『図書部要覧』  
(間島省延吉街厚生館、1942 年)
- 16 『熱河文献展覧会陳列目録』  
(奉天図書館、1933 年)
- 17 『国立奉天図書館特別陳列目録』  
(国立奉天図書館、1937 年)
- 18 『第三十一回日本図書館大會記念展覧資料目録』  
(満鉄奉天図書館、1937 年)
- 19 『小村侯文獻展覧会陳列目録』  
(小村侯記念図書館、1938 年)
- 20 『満洲史文獻展覧会目録』  
(満鉄奉天図書館、1940 年)
- 21 『北方文獻懇談会展示図書目録』  
(岡河榮蔵、満鉄哈爾濱図書館、1943 年)
- 22 『図書館一覧表』  
(南満洲鉄道、1924 年)
- 23 『関東庁博物館附属図書館一覧表』  
(関東庁博物館附属図書館、1928 年)
- 24 『図書館一覧表』(南満洲鉄道、1937 年)
- 25 『奉天図書館名書解題』No.1～No.5  
(南満洲鉄道株式会社、1930～31 年)



「満洲」の図書館関連略年表

- 1906年 南満洲鉄道株式会社設立
- 1907年 満鉄調査部図書室設置
- 1910年 図書閲覧場規定→17 年簡易図書館
- 1918年 満鉄本社図書館設置 (大連)
- 1919年 柿沼介、衛藤利夫満鉄入社
- 1931年 満洲事変
- 1932年 満洲国建国、満洲国立奉天図書館開館、長春図書館は新京図書館と改称
- 1936年 大連、奉天図書館増員
- 1937年 第 31 回全国図書館大会 (於満洲)、満洲国治外法権撤廃により満鉄図書館の多くが満洲国へ移譲。
- 1938年 満鉄図書館研究会設置のための会議召集 (大連)、
- 1939年 民生部・満日文化協会・新京図書館主催「満洲国の図書館に関する座談会」  
新京資料室聯合会発足、満洲国立中央博物館、于長運 (民生部)・榮厚 (満日文化協会)・衛藤利夫・柿沼介らの発起で満洲図書館協会設立趣意書配布
- 1940年 柿沼介大連図書館長退職、衛藤利夫奉天図書館館長辞任
- 1941年 満洲図書館協会第 1 回総会
- 1943年 南満地区図書館聯合協議会発会式
- 1944年 中央図書館籌備処の肝煎で満開資料連絡協議会開催
- 1945年 日本敗戦、満洲国立奉天図書館長弥吉光長「文化の至宝」保存宣言
- 1946年 民主政府が哈爾濱市接管、偽滿哈爾濱市図書館接管
- 1948年 東北図書館籌備処の成立



大連図書館……

1918年に創設、翌年一般にも公開された南満洲鉄道株式会社設立の図書館。その出発点は、日露戦争後の1907年に創設された調査部の社業参考図書室であった。満鉄本社に向かいあって建ち、建坪約3300坪、普通閲覧室100席、約20万冊の図書が収容できる書庫を備えた。

旅順図書館……

1918年関東都督府博物館分館に図書閲覧所として創設。1927年関東庁博物館附属図書館と改称、1929年博物館から独立して関東庁図書館、1934年機構改革で旅順図書館となった。



圖書部要覧

延吉街立厚生館  
電話九二九

康徳九年十一月

満鉄・奉天図書館

第三十一回日本図書館大會記念展覧資料目録

昭和十二年六月七日

満洲国立奉天図書館……

事変後奉天宮殿の四庫全書を保全し、事変で散逸のおそれがあった档案などを整理保存するため関東軍の肝煎により成立した図書館。同時に満洲国の文化事業振興のため日本の東洋学者らによる建議などに後押しされて文化研究院をこの図書館に附設。満洲国草創期の文化政策策定にあたって政治的な役割を果たした。



# 【四 児童図書館関係】

第九～十巻

# Manchuria

◎『戦前期「外地」図書館資料集—満洲編』推薦文

## 「今後の調査の基礎資料としての役割も期待」

大場 利康

大日本帝国における「外地」の範囲は広大であり、地域差も大きい。その中でも「満洲」と呼ばれた中国東北部は、日露戦争の結果得た利権を代表する南満洲鉄道株式会社（満鉄）や、日本人が大きな権限を握る形で成立した「満洲国」などを舞台として、日本人を中心としつつ、帝国を構成する様々なエスニシティを持つ人々によって、文学、建築、写真、映画など様々な分野で「内地」とは異なる側面を持った文化活動が行われた。

図書館もまた例外ではない。全盛期の満鉄図書館は、施設面、サービス面、そして職員の面でも、充実した活動で知られるが、植民地経営のための調査研究を目的とした研究図書館と、社員を中心とした住民のための娯楽と教養のための図書館の双方を含む多数の図書館群からなり、その構成だけを見れば、ドキュメンタリー映画で話題となった米国のニューヨーク公共図書館を思わせる面すらある。こうした旧「満洲」地域における図書館の活動について、我々が知ることができるのは、岡村敬二氏を中心とした研究の進展や、満鉄図書館による代表的な館報類の覆刻（大連図書館の『書香』（緑蔭書房）等）のおかげである。しかし、満鉄図書館だけを見ても、その来歴や蔵書の特徴など十分に知られていない図書館も少なくない。例えば、今回関連資料が取り上げられている、ソビエト連邦からの北満鉄道（東清鉄道）の買収に伴って満鉄が接収した哈爾濱鉄路図書館などもそうした図書館の一つだろう。

今回の『戦前期「外地」図書館資料集—満洲編』は、こうした未だ全貌が広く知られていない旧「満洲」地域の図書館について、これまで入手困難であったピースを埋める資料集と言っ

てよいだろう。これらの「満洲」の図書館の蔵書が、大日本帝国の崩壊に伴い「満洲国」また終焉を迎えた後、どのような状況にあるのかは、今もって明らかになっていない点も多い。今回覆刻される資料には、当時の蔵書の状況をうかがえるものも多く、今後の調査の基礎資料としての役割も期待できる。

図書館史的な側面だけではなく、収録された各図書館の館報における新着資料の紹介や、展覧会・展示会などの活動の報告からは、当時の出版流通状況を中心に、様々な文化状況を窺うことも可能だろう。

一方で、「満洲」地域に限らず、「外地」における日本人の活躍は、植民地支配の成果であり、また支配のためのシステムの一部であったことは否定しがたい。それでも、そこで得られた経験や成果を、「外地」で活躍し、辛うじて内地に戻ることのできた図書館員たちは、（それが「外地」で得たものだとは言わなかったとしても）戦後の図書館を中心に様々な分野で次の世代に伝えたと考えられる。戦後の日本の図書館やその周辺の様々な文化的活動の出発点に、内地とは異なる、「外地」の図書館の経験があったことは、忘れられるべきではない。

今我々が立っている場が、どのような経験を土台に組み込んで作られているのか、あらためて確認するためにも、本資料集を強く推薦する。本資料集が今後存分に活用され、旧満洲地域における様々な文化活動の詳細が、さらに明らかになることを期待したい。

（おおばとしやす／国立国会図書館）

【第九巻】約360頁

26 『児童文集読書及図書館』（満鉄図書館業務研究会、1936年）

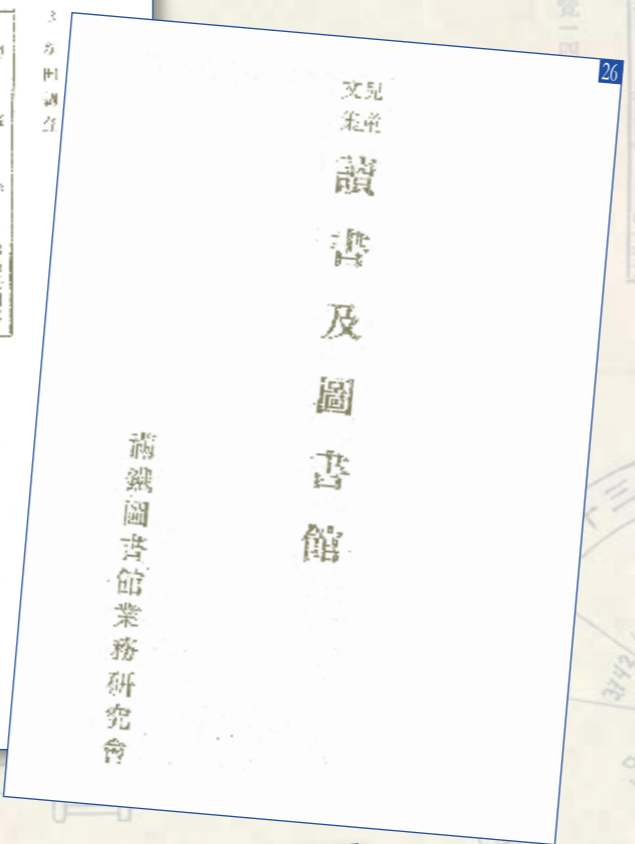
【第十巻】約360頁

27 『児童図書室経営の理論と実際（『研究要報』9輯）』（児童読物研究会、南満洲鉄道教育研究所、1936年）

27 『児童図書室経営の実際と児童読物に関する諸調査（『研究要報』12輯）』（児童読物研究会、南満洲鉄道教育研究所、1937年）

28 『読書週間応募小学児童作文集』（奉天市公立八幡町図書館、1938年）

種別	冊数	備考
児童文集	114	
児童読物	135	
児童雑誌	120	
児童新聞	31	
児童図画	56	
児童音楽	30	
児童劇本	15	
児童映画	10	
児童その他	10	
合計	401	



「本」の「力」

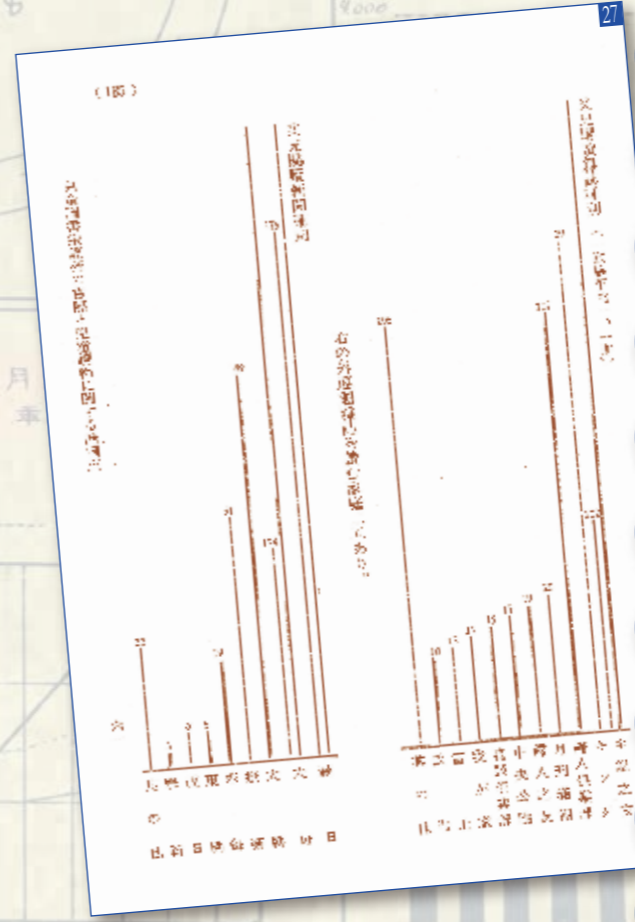
読書は人間の知能を向上させる最も重要な事である。彼の「二十歳のエチュード」に於いて、リンカーンにしても古今の偉人は皆小さい時から読書が好きであった。水を飲むといふ事はその讀んだだけ其の人の知識が進歩した事になるのだ。水が一日飲んだ人は水を飲まぬ他の人よりも一歩先に進んだのである。つまり読書は進歩向上の本となるのだから、我々には良い書物をたくさん讀み、その中に正しい知識を守つて、まじめの人にならなければならない。と同時に自分自身からして此の本を讀むことを感謝しなければならぬ。大抵の人は、面白くもなかりやうであるから、讀みながら讀んでゐる中に、しらすくの間はその人の知識が豊かになるのである。しかし、そうかと思つて何の教へ

「本」の「力」

読書は人間の知能を向上させる最も重要な事である。彼の「二十歳のエチュード」に於いて、リンカーンにしても古今の偉人は皆小さい時から読書が好きであった。水を飲むといふ事はその讀んだだけ其の人の知識が進歩した事になるのだ。水が一日飲んだ人は水を飲まぬ他の人よりも一歩先に進んだのである。つまり読書は進歩向上の本となるのだから、我々には良い書物をたくさん讀み、その中に正しい知識を守つて、まじめの人にならなければならない。同時に同時に自分自身からして此の本を讀むことを感謝しなければならぬ。大抵の人は、面白くもなかりやうであるから、讀みながら讀んでゐる中に、しらすくの間はその人の知識が豊かになるのである。しかし、そうかと思つて何の教へ

「本」の「力」

読書は人間の知能を向上させる最も重要な事である。彼の「二十歳のエチュード」に於いて、リンカーンにしても古今の偉人は皆小さい時から読書が好きであった。水を飲むといふ事はその讀んだだけ其の人の知識が進歩した事になるのだ。水が一日飲んだ人は水を飲まぬ他の人よりも一歩先に進んだのである。つまり読書は進歩向上の本となるのだから、我々には良い書物をたくさん讀み、その中に正しい知識を守つて、まじめの人にならなければならない。同時に同時に自分自身からして此の本を讀むことを感謝しなければならぬ。大抵の人は、面白くもなかりやうであるから、讀みながら讀んでゐる中に、しらすくの間はその人の知識が豊かになるのである。しかし、そうかと思つて何の教へ



原口 統三  
はらぐち どうぞう、  
1927年—1946年

『二十歳のエチュード』著者

読書と図書館

奉天市公立八幡町図書館

「外地」図書館は、その地域において図書館活動だけではなく、教科書の編纂や日本語講座などの教育方面での活動、展示会・展覧会の開催などでも大きな役割を担った。それゆえ本資料は、戦前・戦後の図書館・図書館員の研究史のみならず、文学・美術・出版・映画など、様々な「外地」文化史の研究領域にも寄与できる。